

基本政策 1

安心して子育てができる

安心して子どもを生み、育てることができ、すべての子どもが健やかに成長する“まち”を目指します。

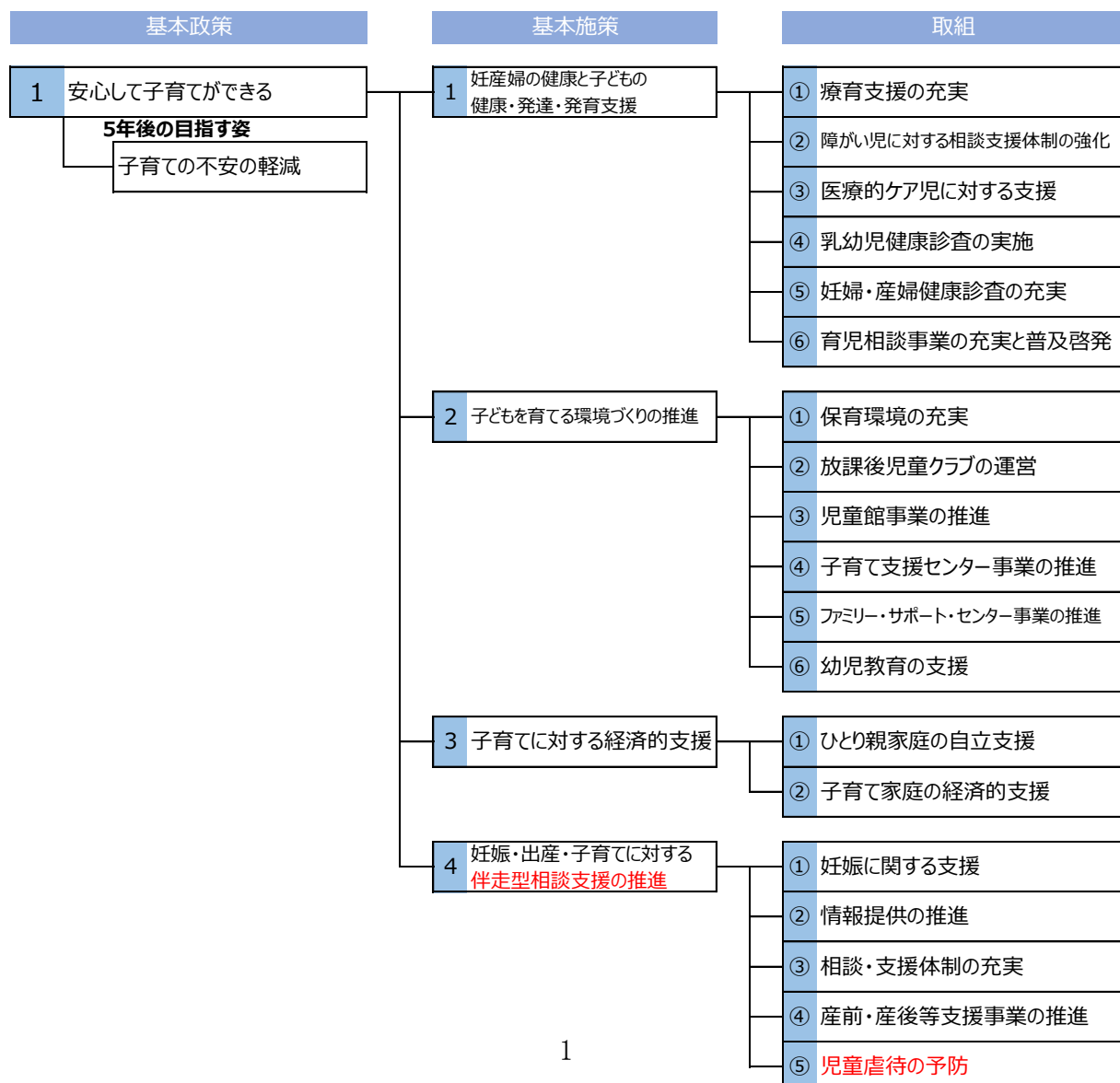
5年後の目指す姿

「子育ての不安の軽減」

地域全体の理解と協力を得ながら、子育て世代を支えるための支援体制を構築し、子育ての不安を軽減します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
子育てに関する悩みや心配ごとについて「特に悩みはない」と回答した割合 (こども計画策定に関するアンケート)	19.5% (R6)	23.0% (R12)

【ロジックモデル】



分野 1 子ども・子育て支援

基本施策

1-1 妊産婦の健康と子どもの健康・発達・発育支援

健診・相談等を通して、妊婦、産婦、乳幼児の健康状態、発達・発育の状態の把握に努めます。
また、課題に応じた一般的な支援から、療育、障がいや児童虐待など専門的な支援までを、関係機関と連携することで、継続的な支援体制を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	子育て支援環境の充実に対する満足度 ※小学校入学前の子どもがいる方で抽出（市民意識調査）	62.8% (R6)	66.5% (R12)

【主な取組】乳幼児健康診査の実施

4ヶ月児、12ヶ月児、1歳6ヶ月児、3歳児の各健診において、年齢に応じた発育・発達の課題の確認や相談を実施します。また、健診後のフォローや未受診児への訪問により、健診対象のすべての子どもの把握と保護者を含めた支援に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
乳幼児健診の実施	実施 (R6)	⇒ 継続 (R12)

1-2 子どもを育てる環境づくりの推進

保育施設や放課後児童クラブ等の整備のほか、子育てに関する情報提供やファミリー・サポート・センター¹など市民の力を活かした支援等により、子どもを育てる環境づくりを総合的に推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	保育サービスなどの充実に対する満足度 ※中学生までの子どものいる方で抽出（市民意識調査）	57.7% (R6)	62.7% (R12)

【主な取組】保育環境の充実

早期の待機児童の解消及び待機児童ゼロの継続を目指し、保育施設の整備等に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
保育所等待機児童数	8人 (R6)	⇒ 待機児童0人の早期達成及びその継続

¹ 子育ての手助けをしたい人（提供会員）と、手助けをして欲しい人（依頼会員）が会員になって、地域で子育てを助け合っていくシステム

分野 1 子ども・子育て支援

1-3 子育てに対する経済的支援

医療費の助成や手当の支給等により、子育て家庭への経済的な負担の軽減を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	子育て支援環境の充実に対する満足度 ※中学生までの子どもがいる方で抽出（市民意識調査）	69.4%（R6）	74.4%（R12）

【主な取組】ひとり親家庭の自立支援

経済的な援助のほか、就労のための支援などを合わせて推進することで、ひとり親家庭の安定した自立への支援に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
児童扶養手当の受給資格者のうち、本人の所得が所得制限額以上の人の割合	12.1%（R6）	⇒ 13.3%（R12）

1-4 妊娠・出産・子育てに対する伴走型相談支援の推進

妊娠・出産から子育て期に至るまで、切れ目のない支援体制を実現するため、**確立したワンストップ相談窓口を活かし、伴走型相談支援²を推進します。**

	指標	現状値	目標値
KPI	「子育て（教育を含む）をするうえで、相談できる人（場所）はいますか。」の設問に「いる/ある」と回答した人の割合 （子育て支援に関するアンケート調査）	94.8%（R6）	97.0%（R12）

【主な取組】相談・支援体制の充実

妊娠・出産・子育てに関する支援のため、保健師などの専門職員を配置し、必要な支援に気づき、関係機関や地域との連携を図りながら、適切な相談・支援を行います。

【KSF】	現状値	目標値
子ども未来応援センターが関わったケース会議 ³ の回数	104回（R6）	⇒ 110回（R12）

² 妊娠・出産から子育て期に至るまで、切れ目なく相談に応じ、ニーズに即した必要な支援につなぐこと

³ 目の前にいる支援を必要としている子どもの事例に対し、支援方針と役割分担を決定するための会議

分野 1 子ども・子育て支援

関連する SDGs ゴール



すべての子どもが、夢に向かってチャレンジできるよう支援を行い、貧困の連鎖を断ち切るための取組を推進します。 関連ターゲット（1－2）



妊娠、出産から子育て期に至るまで、安心して子育てができる環境を整えます。
関連ターゲット（11－1）

関連計画等

富士見市こども計画（令和 7 年度～令和 11 年度）

富士見市障がい者支援計画（令和 6 年度～令和 8 年度）

富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画 後期計画（令和 8 年度～令和 12 年度）

関連部署

子ども未来部 子育て支援課、保育課、子ども未来応援センター、みずほ学園
健康福祉部 障がい福祉課

基本政策 2

夢に向かってチャレンジできる

子どもや若者が安心して暮らすことができ、夢や目標に向かってチャレンジできる“まち”を目指します。

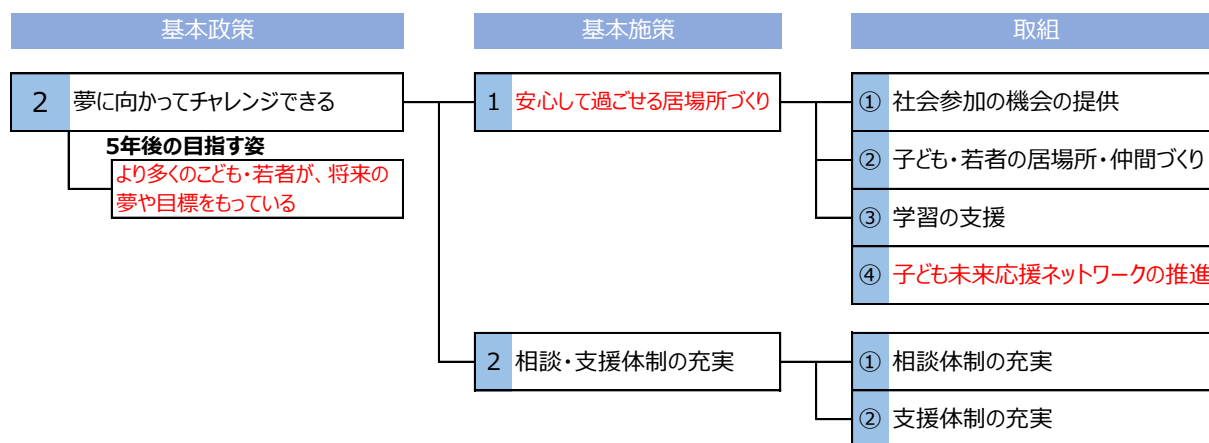
5年後の目指す姿

「より多くの子ども・若者が、将来の夢や目標を持っている」

より多くの子どもや若者が、安心して過ごせる居場所があり、学業や就労などに対する不安や悩みを、相談や就労体験等によって解消しながら、将来の夢や目標を持っている状態を目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
将来や進路のことについて、悩んだり、困ったりしていると答えた若者の割合	44.6% (R 6)	40.0% (R12)

【ロジックモデル】



分野 2 子ども・若者支援

基本施策

2-1 安心して過ごせる居場所づくり

社会参加に向けた居場所づくり・仲間づくりのための活動等の支援など、安心して過ごせる居場所づくりへの支援を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）について、「居場所が複数ある」と答えた児童生徒の割合（富士見市こども計画策定に関するアンケート調査）	94.7%（R6）	98.0%（R12）

【主な取組】 子ども・若者の居場所・仲間づくり

身近に利用できる子ども食堂や若者の居場所活動などに取り組む団体を支援します。

【KSF】	現状値	目標値
子どもの居場所数（子ども食堂、学習支援教室、プレイパーク、若者支援の居場所数の合計）	24ヶ所（R6）	⇒ 30ヶ所（R12）

2-2 相談・支援体制の充実

子ども・若者の不安や悩みなどをサポートするため、地域子育て相談機関の設置や支援のためのネットワーク強化など相談・支援体制を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	継続して相談・支援を行い、課題解決につながった割合	33.7%（R6）	40.0%（R12）

【主な取組】 相談体制の充実

相談しやすい環境づくりのため、身近な相談機関である地域子育て相談機関を設置します。

【KSF】	現状値	目標値
地域子育て相談機関の設置数	3ヶ所（R6）	⇒ 6ヶ所（R12）

関連する SDG s ゴール



生活困難な子ども・若者に気づき、適切な支援へ繋げ、貧困の連鎖を断ち切るための取組を推進します。 関連ターゲット (1-2)



すべての子ども・若者が、自らの希望に応じて学習の機会を平等に得られるための支援を行います。 関連ターゲット (4-6、4-7)

関連計画等

富士見市こども計画 (令和 7 年度～令和 11 年度)

第 3 次富士見市教育振興基本計画 (令和 5 年度～令和 9 年度)

関連部署

子ども未来部 子育て支援課、保育課、子ども未来応援センター

健康福祉部 福祉政策課

教育部 生涯学習課、学校教育課

基本政策 3

児童生徒一人ひとりが輝く

「確かな学力・豊かな心・健やかな体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に努め、子どもたち一人ひとりを認め、励まし、褒める教育を行うことにより、児童生徒の夢と希望が育まれる“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

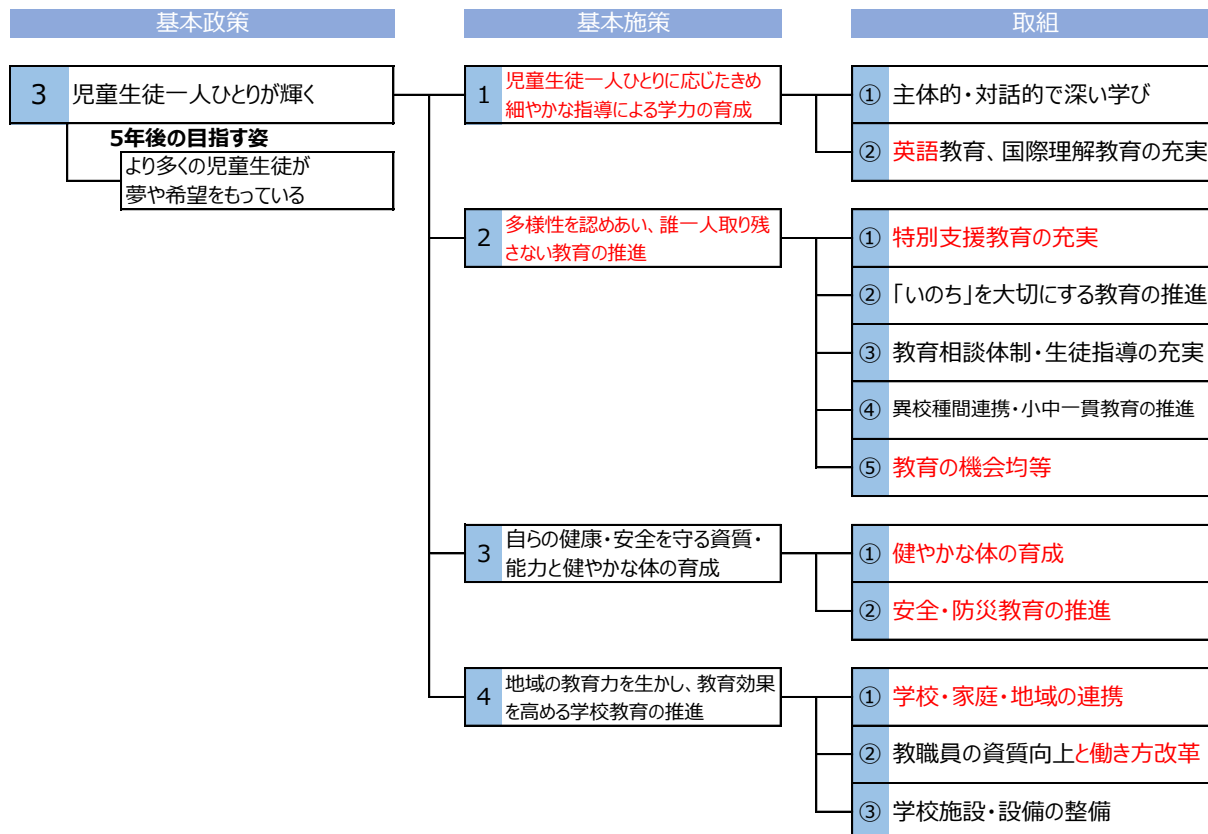
「より多くの児童生徒が夢や希望をもっている」

児童生徒が、楽しく学び、考え、自らの力で問題を解決したり、新たな課題を創り出したりするなど、主体的に物事に関わり、夢や希望をもっている状態を目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合 (全国学力・学習状況調査)	小6 81.5% 中3 64.9% (R6)	小6 85.0% 中3 70.0% (R12)

※上記「小」とは小学生を表し、「中」とは中学生を表しています。以下この分野において同じ。

【ロジックモデル】



基本施策

3-1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成

児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」となる授業実践や一人一台端末の効果的な活用等を通して、確かな学力を育成します。

	指標	現状値	目標値
KPI	「県平均との比較で県より上回っている項目数」 (県学力・学習状況調査 小4～6、中1～3各教科の結果)	小 20/66 中 18/48 (R6)	小 33/66 中 24/48 (R12)

【主な取組】 主体的・対話的で深い学び 児童生徒が、これからの時代に求められる資質・能力を身に付けられるよう、STEM 教育 ¹ 等を取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現に向け取り組みます。		
【KSF】	現状値	目標値
「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」に肯定的に回答した割合（全国学力・学習状況調査）	小 84.6% 中 87.8% (R6)	⇒ 小 90.0% 中 90.0% (R12)

3-2 多様性を認めあい、誰一人取り残さない教育の推進

児童生徒の多様性を尊重し、特別支援教育や教育相談、いのちを大切にする教育などを通して、自尊感情を高め、相手を思いやる心を育み、誰一人取り残さない教育を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	「学校に行くのが楽しい」と回答した割合	小 82.8% 中 84.6% (R6)	小 90.0% 中 90.0% (R12)

【主な取組】 「いのち」を大切にする教育の推進 助産師による「いのち」をテーマにした「いのちの授業」を核に、義務教育 9 年間をとおして学びを積み上げ、自尊感情を高めます。		
【KSF】	現状値	目標値
「自分にはよいところがあると思う」「どちらかといえば思う」と回答した割合（全国学力・学習状況調査）	小 6 82.7% 中 3 81.2% (R6)	⇒ 小 6 85% 中 3 85% (R12)

¹ STEMとは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）の頭文字であり、これらを統合的に学び、ロボットや IT 技術に触れて「自分で学ぶ力」を養う教育方法

分野 3 学校教育

3-3 自らの健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成

児童生徒が健康・安全について実践的・科学的に理解し、生涯にわたって運動に親しむことができる健やかな体を育成します。

	指標	現状値	目標値
KPI	新体力テスト ² の評価 (A+B+C)の児童生徒割合の県平均との比較	小 -4.1 ポイント 中 -0.2 ポイント (R6)	小 +1 ポイント 中 +3 ポイント (R12)

【主な取組】 健やかな体の育成

運動に親しむ資質・能力の育成を図り、運動好きな児童生徒を育てる体育授業を推進します。

【KSF】	現状値		目標値			
「体育の授業は楽しい」と回答した割合の県平均との比較 (全国体力・運動能力、運動習慣等調査)	小	男子-8.4ポイント 女子+3.4ポイント	(R6) ⇒	小	男子+1ポイント 女子+4ポイント	(R12)
	中	男子-3.4ポイント 女子+1.6ポイント		中	男子+1ポイント 女子+3ポイント	

3-4 地域の教育力を生かし、教育効果を高める学校教育の推進

児童生徒が安心して通うことができ、保護者・地域から信頼される学校教育を推進するとともに、安全で快適な教育環境を整備します。

	指標	現状値	目標値
KPI	「コミュニティスクール ³ や地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか」に「当てはまる」と回答した割合	小 5/11 校 中 1/6 校 (R6)	小 11/11 校 中 6/6 校 (R12)

【主な取組】 学校・家庭・地域の連携

学校応援団の活用、防犯見守りなどをとおして地域からの意見を取り入れ、教職員が地域とともにある学校を意識し、開かれた学校づくりを推進します。

【KSF】	現状値		目標値
「地域や社会をよくするために何かしてみたい と思いますか」に「当てはまる」「やや当てはま る」と回答した割合 (全国学力・学習状況調査)	小：79.3%		小：85.0%
	中：75.9%	⇒	中：80.0%
	(R6)		(R12)

² 国民の体力・運動能力の現状を把握するため、文部科学省が実施する運動能力調査。各調査項目を点数化し、合計点数によりA～Eの5段階で評価とするもの

³ 地域住民等が学校運営に参画する制度で、保護者や地域の代表などで構成される「学校運営協議会」を設置し、地域と連携した教育の推進を図る仕組みのこと

関連する SDG s ゴール



児童生徒一人ひとりが適切な教育機会に恵まれる教育を推進します。

関連ターゲット (1-2)



児童生徒一人ひとりの個性を肯定的に受け止め、自尊感情を高める教育を推進します。 関連ターゲット (4-5、4-7,4-a)



自分や他者を大切に**する人権教育**と「特別な教科 道徳」の授業を要とした道徳教育を推進します。 関連ターゲット (5-5、5- c)

関連計画等

第 3 次富士見市教育振興基本計画 (令和 5 年度～令和 9 年度)

富士見市こども計画 (令和 7 年度～令和 11 年度)

関連部署

危機管理課

協働推進部 **協働推進課** 人権・市民相談課

子ども未来部 子育て支援課

建設部 道路治水課

教育部 教育政策課、学校教育課、教育相談室、学校給食センター

基本政策 4

住み慣れた地域での安心した 心地よい暮らしの実現

市民が、生活の拠点である住み慣れた地域に根ざし、ともに支え合いながら、安心・充実した生活を送ることで、心地よい暮らしが実現できる“まち”を目指します。

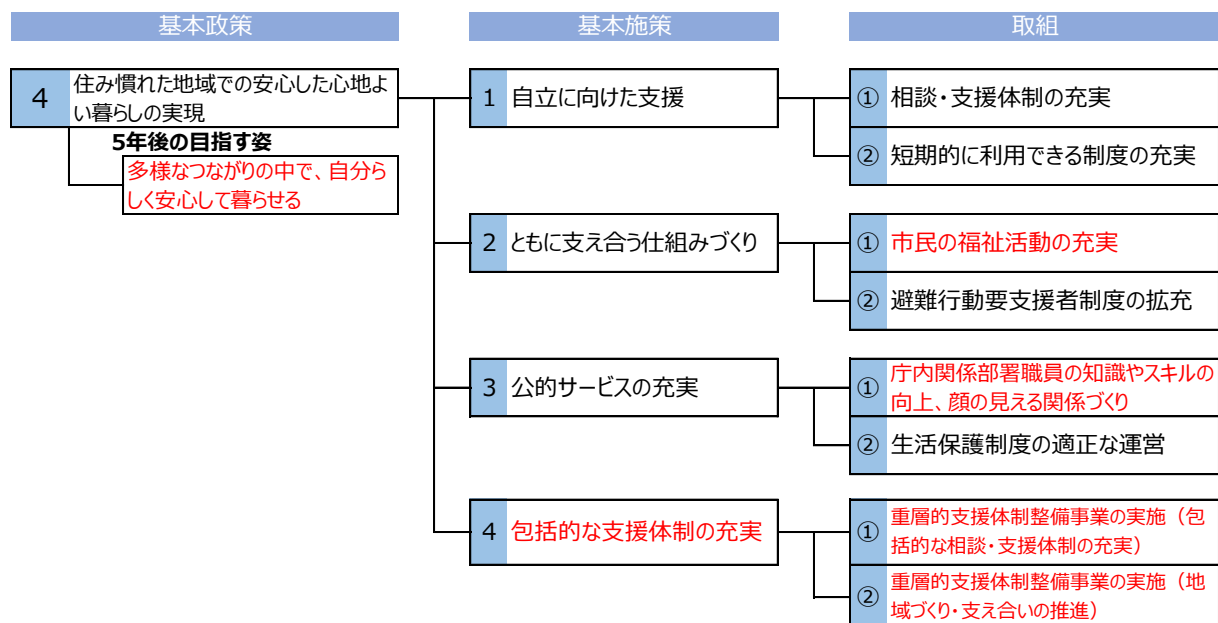
5年後の目指す姿

多様なつながりの中で、自分らしく安心して暮らせる

市民一人ひとりや福祉関係機関等が協力・連携して、お互いに支え合いながら安心・安全に生活できる住みよい“まち”を目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
市の福祉施策（福祉のまちづくり）に関する満足度（市民意識調査）	57.6%（R6）	65.0%（R12）

【ロジックモデル】



基本施策

4-1 自立に向けた支援

市民一人ひとりが、安心した生活を送ることができるよう支援し、自立できることを目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	生活サポートセンター☆ふじみにおける支援プラン作成者のうち自立に向けての改善が見られた者の割合	24.2% (R6)	40.0% (R12)

【主な取組】 相談・支援体制の充実

生活サポートセンター☆ふじみ¹にて行われている、生活困窮者やその家族等への相談・支援体制を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
生活サポートセンター☆ふじみでのプラン作成件数	64 件/年 (R6) ⇒	80 件/年 (R12)

4-2 ともに支え合う仕組みづくり

市民一人ひとりや福祉関係機関等が協力・連携してともに支え合う仕組みづくりを進めます。

	指標	現状値	目標値
KPI	地域活動に参加している人の割合	52.6% (R6)	61.0% (R12)

【主な取組】 避難行動要支援者制度の拡充

災害時に自力で避難することが困難な方が、地域での支え合いにより避難できるよう、制度の拡充に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
個別避難計画 ² の新規作成件数	11 件 (R6) ⇒	15 件 (R12)

¹仕事や生活費などでお困りの方に対して、専門のスタッフが相談に応じ自立に向けた支援を行う機関

²災害時に自力で避難することが難しい人のために、避難の方法や支援する人などをあらかじめ決めておく計画

分野 4 地域福祉

4-3 公的サービスの充実

自らの力や地域での支え合いだけでは解決できない生活課題に対し、その課題に合った適切なサービスを提供できるよう、生活課題の把握や支援策の検討をはじめ、関係部署との連携強化などを行うことで、公的サービスを充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	ケースワーカーの月平均訪問件数（一人当たり）	17.3 件（R6）	20.0 件（R12）

【主な取組】 庁内関係部署職員の知識やスキルの向上、顔の見える関係づくり

公的サービスを必要とする方が、適切なサービスを利用できるよう関係部署間での情報共有や各担当者のスキルの向上を図っていきます。

【KSF】	現状値	目標値
庁内勉強会の回数	4 回/年（R6）	⇒ 6 回/年（R12）

4-4 包括的な支援体制の充実

市民の複雑化・複合化した支援ニーズや制度の狭間に対応するため、重層的支援体制整備事業³を推進することで、包括的な支援体制を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	多機関協働事業における支援プランの作成件数（延べ件数）	20 件（R6）	56 件（R12）

【主な取組】 重層的支援体制整備事業の実施（包括的な相談・支援体制の充実）

複雑化・複合化した福祉課題や、制度の狭間の問題を抱える人や世帯に対して、分野横断的な関係機関の連携による重層的支援会議を開催することで、切れ目のない一体的な支援を提供します。

【KSF】	現状値	目標値
重層的支援会議の開催	21 回/年（R6）	⇒ 36 回/年（R12）

³市町村において、既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、①相談支援、②参加支援、③地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業

分野 4 地域福祉

関連するSDGsゴール



多様な福祉ニーズに対応するための包括的な支援体制の充実に取り組みます。

関連ターゲット（1-3）



災害時に脆弱な立場にある人が、地域の支え合いにより避難行動が取れるシステムを拡充していきます。 関連ターゲット（11-5）



地域の支え合い、適切な公助の適用等により虐待による暴力の低下に寄与していきます。

関連ターゲット（16-1、16-2）



民生委員・児童委員や社会福祉協議会、社会福祉活動団体など地域福祉活動の担い手との連携を強化し、ともに生きるまちづくりに取り組みます。 関連ターゲット（17-17）

関連計画等

第4次富士見市地域福祉計画（令和8年度～令和12年度）

関連部署

健康福祉部 福祉政策課、高齢者福祉課、障がい福祉課

子ども未来部 子ども未来応援センター

教育部 教育相談室

基本政策 5

人生 100 年時代を見据えた健康長寿を目指す

住み慣れた地域で自分らしい自立した在宅生活を送るために、活動的に過ごすことで心身機能の維持・向上に努め、健康長寿を実現する“まち”を目指します。

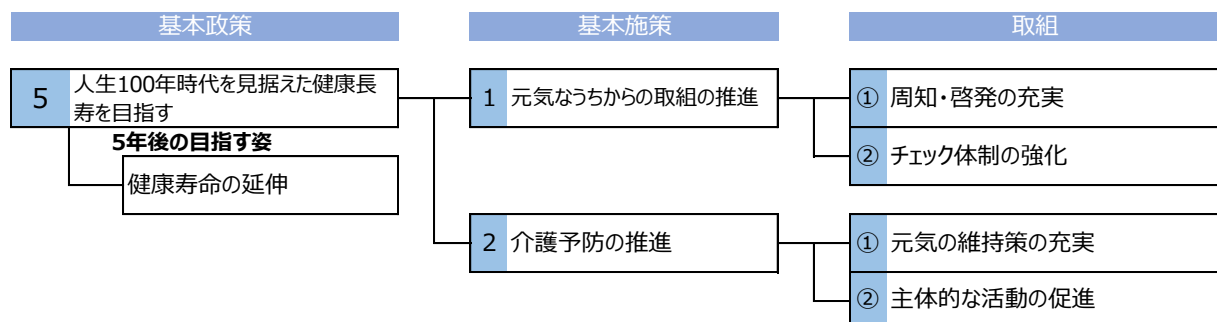
5年後の目指す姿

「健康寿命¹の延伸」

市民が、主体的にフレイル²の予防や自主的活動に取り組み、健康寿命の延伸に努めます。

数値目標	現 状 値	目 標 値
健康寿命	男性 17.93 年 女性 20.53 年 (R5)	男性 19.14 年 女性 21.75 年 (R12)

【ロジックモデル】



¹ 65 歳に達した市民が健康で自立した生活を送ることができる期間

² 加齢により心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態

基本施策

5-1 元気なうちからの取組の推進

市民が自らの健康に関心を持てるよう、身近な場所で気軽にフレイルチェックや健康相談、健康講座を受けられる機会を確保し、フレイル予防の啓発に努めるなど元気なうちからの取組を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	フレイルを知っている割合 (アンケートモニター調査)	39.5% (R6)	50.0% (R12)

【主な取組】 チェック体制の強化

フレイルに関する知識の普及啓発を図り、その兆候に早く気づき、最適な介護予防活動に取り組めるよう、フレイルチェックを強化します。

【KSF】	現状値	目標値
フレイルチェック事業参加者数	397 人/年 (R6)	⇒ 460 人/年 (R12)

5-2 介護予防の推進

市民が、自ら心身機能の維持・向上に努め、介護予防に取り組めるよう、フレイルに関する情報提供や早期発見と正しい対処について周知啓発を図り、自主的活動の担い手の育成を進めるなど介護予防を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	介護予防に資する住民主体の通いの場に参加する高齢者の割合	5.0% (R5)	7.0% (R12)

【主な取組】 元気の維持策の充実

個々人の心身機能に合わせ、介護予防を継続できる身近な場所として、ふじみパワーアップ体操クラブ³の増設や活動を支援するなど、元気の維持策の充実に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
パワーアップ体操クラブ数	54 クラブ (R6)	⇒ 65 クラブ (R12)

³ 高齢者が運動や認知の力を維持することを目指して本市で考案した体操を行うクラブ

関連する SDG s ゴール



フレイルの予防に取り組むなど、様々な社会資源を活用した元気なうちからの取組を推進し、健康的な生活の継続を目指します。 関連ターゲット（3-8）



仲間とともに活動することで、健康づくりへの意欲喚起を図ることができるため、多くの人の参加のもと健康づくりを進めます。 関連ターゲット（17-17）

関連計画等

第 9 期富士見市高齢者保健福祉計画（令和 6 年度～令和 8 年度）

富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画 後期計画（令和 3 年度～令和 7 年度）

関連部署

市民部 保険年金課

健康福祉部 高齢者福祉課、健康増進センター

基本政策 6

社会（地域）参加できる

高齢になっても健康を維持し、充実した日々を送るため、社会参加や活動ができる自分の居場所を見つけ、いつまでも地域とつながりを持ち、社会（地域）参加できる“まち”を目指します。

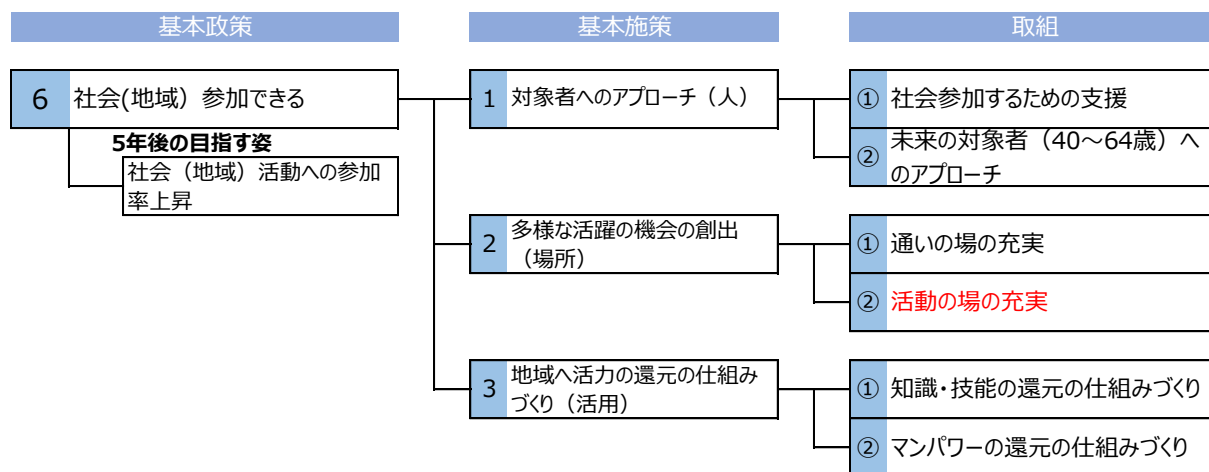
5年後の目指す姿

「社会（地域）活動への参加率の向上」

現在どのような社会（地域）活動があるのかを知るとともに、多様なニーズに合った活躍できる場が、これまで以上に増えることで、社会（地域）活動の参加意欲を醸成します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
社会（地域）活動への参加率 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	56.6% (R4)	66.6% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

6-1 対象者へのアプローチ（人）

多種多様なニーズを把握し、効果的に各種活動を周知することで、どのような社会（地域）活動があるのかを知ってもらい、移動手段も含め、活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

	指標	現状値	目標値
KPI	社会（地域）活動の認知率 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	73.7%（R4）	78.0%（R12）

【主な取組】 社会参加するための支援

高齢者の社会参加を促し、生活に生きがいを見出すための趣味や娯楽活動を行う一方、社会の変化に対応するため様々な学習活動を広げ、社会参加への取り組み等を地域の実情に応じて展開していく活動を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
高齢者学級の参加者数	493 人（R6）	⇒ 530 人（R12）

6-2 多様な活躍の機会の創出（場所）

多種多様なニーズに対応できる活動・活躍できる場所を拡充していくため、地域や施設などにおいて活動・活躍する機会の創出を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	サービス・活動（地域支援事業）提供団体数	1 団体（R6）	3 団体（R12）

【主な取組】 活動の場の充実

地域住民団体などの多様な主体が実態に即したサービスを提供することにより元気な高齢者がサービス提供者として参加することで、自身の介護予防・生きがいづくりを目指します。

【KSF】	現状値	目標値
総合事業 ¹ における活動登録者数	13 人	⇒ 39 人（R12）（累計）

¹ 要支援者や事業対象者の方々に対する介護予防・生活支援サービス事業。市の特性を踏まえながら独自の効果的かつ効率的なサービスを提供し、安心して在宅生活ができるよう支援する事業

6-3 地域への活力還元の仕組みづくり（活用）

社会参加する方を増やすとともに、社会が高齢者を必要とする環境を整え、これまで培った知識・経験・技能を社会に還元できる仕組みの構築を目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	地域で活躍している高齢者の割合 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	3.7% (R4)	6.5% (R12)

【主な取組】 マンパワーの還元の仕組みづくり

ボランティアやシルバー人材センターの会員登録者数を増やすなど、意欲ある高齢者と地域のニーズを結びつけ、地域社会で活躍する高齢者を増やす取組を進めます。

【KSF】	現状値	目標値
介護支援ボランティアポイント事業 ² の登録者数	344 人 (R 6)	⇒ 410 人 (R12)

関連する SDG s ゴール



社会（地域）活動への参加により、あらゆる人々の活躍を推進し、誰もが活躍できる社会の実現を目指します。 関連ターゲット（8-5）



様々なパートナーシップを推進し、社会参加に向けて協力することで、活躍の場を増やしていきます。 関連ターゲット（17-17）

関連計画等

第9期富士見市高齢者保健福祉計画（令和6年度～令和8年度）

関連部署

健康福祉部 高齢者福祉課、健康増進センター

都市整備部 都市計画課

教育部 生涯学習課

² 65歳以上の方が登録し、「介護支援ボランティア」として、市が指定する介護保険施設等でボランティアとして活躍する事業

分野 5 高齢者福祉

基本政策 7

住み慣れた地域での継続した生活の実現

介護や支援が必要になった時にすぐに相談ができ、医療・介護・地域・福祉の連携したサービスなどを利用しながら、いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと暮らしていける“まち”を目指します。

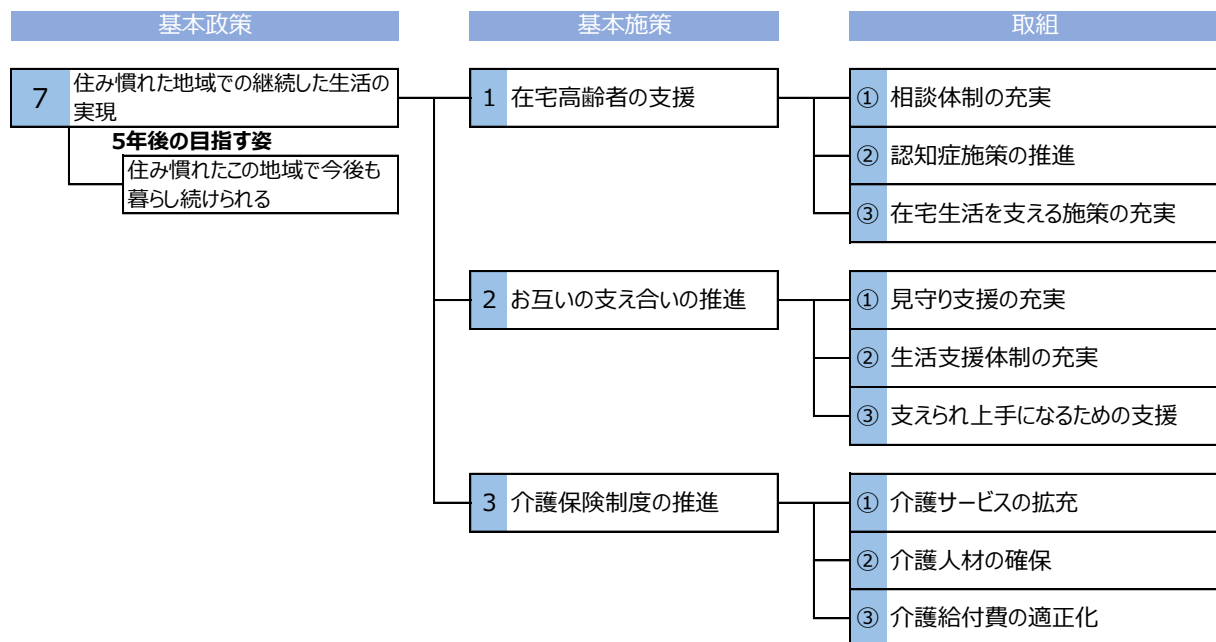
5年後の目指す姿

「住み慣れたこの地域で今後も暮らし続けられる」

介護保険サービスや在宅高齢者施策の活用、地域での支え合い活動など、適切な支援を受けながら安心して生活できる環境を整え、様々な社会資源の活用により、住み慣れた地域で今後も暮らし続けられることを目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
「住み続けたい」と感じている方の割合 (60 歳以上) (市民意識調査)	84.9% (R6)	85.5% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

7-1 在宅高齢者の支援

身近な地域で、きめ細やかな相談や支援ができるよう、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター¹）や関係機関を含めた相談体制の強化に努めるなど、高齢者が在宅生活を継続できることを目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	在宅高齢者支援施策に対する満足度 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	24.8%(R4)	34.8% (R12)

【主な取組】 相談体制の充実

在宅高齢者やその家族に対して適切な支援ができるよう、高齢者あんしん相談センターと関係機関の連携を強化します。また、必要な時に速やかに相談につながるよう、相談窓口の周知に努めます。

【KSF】	現状値	目標値
高齢者あんしん相談センターの認知率 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	26.5% (R4)	⇒ 50.0% (R12)

7-2 お互いの支え合いの推進

多様な主体による生活支援サービスを拡充し、地域の課題を住民同士で考え、お互いに支え合えるまちづくりを推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	支え合い活動に取り組んでいる人の割合 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	新規 (R7 調査予定)	R7 調査+5% (R12)

【主な取組】 生活支援体制の充実

生活支援コーディネーター²を中心として、地域における関係機関の連携を強化し、ニーズの把握及び住民主体のサービスの創出やボランティアの育成など、生活支援体制の充実に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
第2層協議体 ³ 数	3団体	⇒ 11団体 (R12)

¹ 保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職が協力して、高齢者の方やそのご家族、地域の方からの、介護保険の利用や生活支援、介護予防など高齢者に関する様々な相談に対応する機関。高齢者あんしん相談センターは、地域包括支援センターの愛称

² 地域における支え合いの自主組織の形成を支援する人

³ 協議体は、地域課題を協議するコミュニティのことで、第1層協議体はすでに市全域を対象として組織されている。第2層協議体とは、高齢者あんしん相談センターの日常生活圏域ごとに組織される。第3層協議体とは、第2層の中の小さなコミュニティで組織される。

7-3 介護保険制度の推進

事業所や施設の拡充を進めるとともに、介護人材確保策の強化や介護給付費の適正化の取組を強化し、介護や支援を必要とする方が、必要な時に、適切なサービスを受けられる制度運用を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	介護人材の不足を感じている事業所の割合	87.0% (R6)	73.0% (R12)

【主な取組】 介護サービスの拡充

ニーズや供給量などを総合的に判断した上で、地域密着型介護老人福祉施設、通所介護施設などのサービス提供事業所の整備等、介護サービスの拡充を検討します。

【KSF】	現状値	目標値
介護事業所・施設数	64ヶ所 (R6)	⇒ 74ヶ所 (R12)

関連するSDGsゴール



介護保険は、最も重要なセーフティネットのひとつであることから、すべての市民に公平で質の高いサービスを提供するように努めます。 関連ターゲット (1-3)



在宅高齢者の支援を強化し、介護者の負担の軽減に努めながら、すべての人々の福祉を推進します。 関連ターゲット (3-8)

関連計画等

第9期富士見市高齢者保健福祉計画（令和6年度～令和8年度）

関連部署

健康福祉部 高齢者福祉課